

図書館タイムズ 2018年10月号

人吉高校記念図書館 平成30年10月9日発行

中間考査おつかれさまでした。秋は、スポーツの秋とも言われ部活動の大会なども多いと思いますが、文武両道・文化面も充実！ということで、図書館では年に一度の一大イベント「図書館まつり」の時期が近づいてきました。



毎年、文化の日を挟む2週間は「**全国読書週間**」です。今年の標語「**ホッと一息 本と一息**」には「忙しい日常のひと時、5分でも10分でも本を読んでいる間は本と自分だけのたいせつな時間」との思いが込められています。



読書は一人で楽しむことも多いですが、誰かと共有する中で「ホッと」できることもありますよね。「一人で誰かと、本を通じてホッと一息ついて、世界を広げて欲しい」という思いをもって、図書委員会では、全国読書週間の時期に先駆けて**図書館まつり**を開催します。

みなさんに楽しみながら、本に親しんでもらえるように、図書委員が毎日、考えながら準備を進めています！***すべての企画の詳細は、図書委員作成の「れんが館倶楽部」でお知らせします。**1週間の期間では足りない程、充実した内容です。ぜひ**読書の秋**を満喫しに来てください。

今月開催！「図書館まつり2018」 10月22日(月)～27日(土)

みなさんの参加が不可欠の参加型イベント！来て・見て・触って・読んで♪
たくさんある企画の中から、メイン企画と事前に募集中の企画を2つご紹介します。

メイン企画：「ホッと一息、本と一息、誰と一息？」

誰とホッとしたいかを「ひとりで」「家族と」「恋人と」「友達と」の4つ設定し、それぞれにおすすめの本をご紹介します。併せて「ホッとできるアンケート」も準備します。アンケートに答えて(シールを貼るだけ)来館者プレゼントの「お守り」をGET！

コンテスト作品募集中

フックカバーコンテスト&言葉コンテストの作品を募集しています。期限：10/18(木)まで

詳細は校内掲示のポスターをみてね。

応募者全員に、参加賞として「読書のさくら」にも使える**じんきちミニファイル**を準備！

* 図書館講座 * 番外編 in 図書館まつり

10月24日(水) 放課後

好評につき、昨年に続いて第2弾！

「おたくフランス ふたりめ」卒業生の井上修平先生(事務室)をゲストに、日本が誇る文化であるアニメやコミケ・サブカルについて熱く語って頂きます！

※受付は、図書館カウンターにて。

図書館講座に来たことがない、という方もぜひこの機会に、気軽に参加してください♪

図書館の10月特集

☆ 芸術鑑賞に向けて ☆ 「三国志」特集

11/1(木)にある今年の芸術鑑賞は、**大型人形劇「三国志」**有名な作品ですが、意外に内容を知らない人もいるのでは？

羅貫中の『三国志演義』を原作とした人形劇は、ダイジェスト版のため事前に登場人物や名場面、概要を知っておく方が、芸術鑑賞をより楽しめるはず！そこで、図書委員達で三国志を知るためのコーナーを設けました。***おすすめ***ぜひ芸術鑑賞までに本で理解を深め、人形劇を更に楽しみましょう★

【ゆかりの故事成語】 読書百遍義自ずから見る

『三国志』魏書王肅伝の「注」に記されている語が出典だと言われています。難しい本でも、繰り返し読むことによって、最初は分からなかったことが理解できたり、新たな意味を見い出せたりする、ということをお話しています。

NO
IMAGE

『三国志事典』

渡邊義浩 著/大修館書店

三国時代の歴史・文化・国際関係や、三国志の基礎情報を網羅

* 名作へのとびら *

『坊ちゃん』 夏目漱石 著

(図書館教育ニュース 1475号より)

生徒のいたずらや赤シャツがしかける陰険な悪だくみに真っ正面から立ち向かう坊ちゃんの姿が痛快です。また、日露戦争直後の時代背景や、坊ちゃんの後の人生などを深読みしてみるのもおもしろいでしょう。

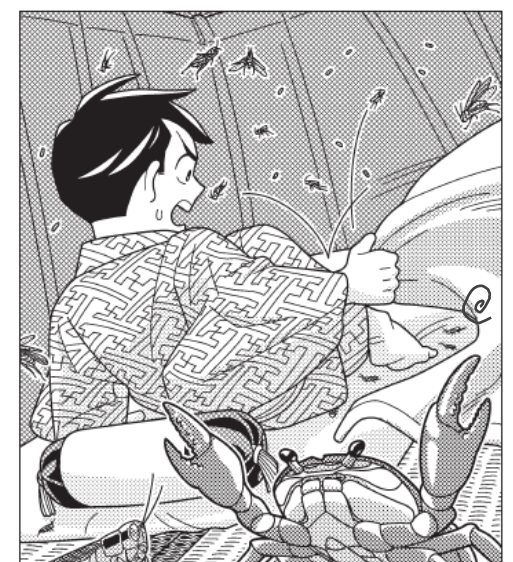
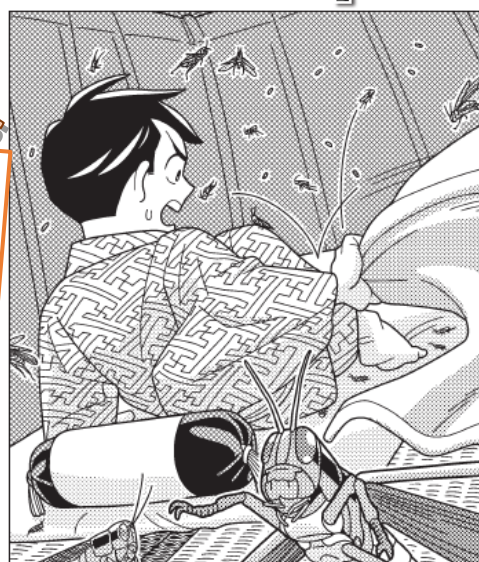
近代を代表する文豪、夏目漱石は28歳の時に松山の中学校に英語教師として招かれています。このあたりの境遇は坊ちゃんと重なりますが、漱石は帝国大学卒の文学士という、赤シャツと共通点もあるのが興味深いところです。

ちなみに、漱石の俸給は80円で、校長より高給だったそうです。

名作 まちがいさがし

坊ちゃんが宿直室の毛布に入ると、小さいものが飛びついてきます。なんと数十匹ものバッタが入れられていたのです。犯人らしき生徒たちに問いただしても、「バッタではなくイナゴぞな、もし」と、とはける始末です。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



※答えと本は、図書館に掲示しています。